

可動堰回覧板

平成19年6月1日号 (No.23)
国土交通省北陸地方整備局
信濃川河川事務所大河津出張所
TEL 0256-97-2121
E-mail shinano@hrr.mlit.go.jp

回覧

今回は、可動堰本体工事状況、工事で掘削する土砂の新たな運搬先、3月末に発注された工事担当者からのメッセージなどについて紹介します。

現在の可動堰本体工事状況について

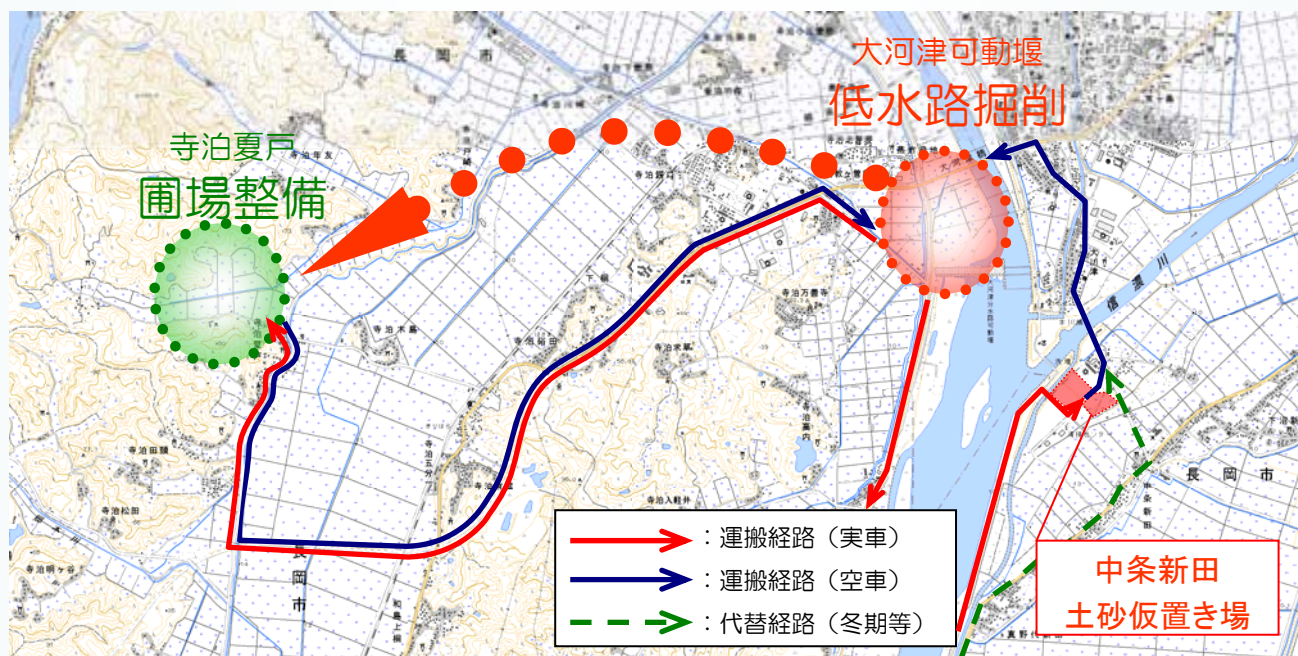


4月から、いよいよ堰本体を支えるための基礎となる杭（鋼管杭）の打ち込みが始まりました。杭打ち機の手前に見えるもの（茶色）が鋼管杭で直径約1m、現在の地盤から地中に深いところで7m以上も打ち込んでいきます。

6月からは、本体底面部の均しコンクリートを施工します。

天候にも恵まれ、工事は順調に進んでいます。（写真は平成19年5月9日撮影）

新しい土砂運搬先について



先月号でご紹介したように、可動堰改築事業では事業の後半に予定している右岸側の高水敷造成に備え、中条新田地先へ掘削土砂の仮置きをはじめましたが、その他にも地域の社会資本整備に貢献するよう近隣で行われている圃場整備事業などに運搬し、有効利用を行っています。現在は、寺泊夏戸地先で長岡地域振興局が計画している圃場整備事業実施箇所などに搬出しています（上の図をご参照下さい）。なお、運搬期間は11月頃までの予定です。

土砂運搬に伴いダンプトラックの台数が増えるため、沿線の皆様にはご迷惑をおかけしますが、安全優先で工事を行いますのでご協力をお願いいたします。

新しい工事の担当者からのメッセージ

先月号で紹介しました大河津橋の上下流3箇所で行われる新たな工事は、下の写真に示す範囲において、大河津分水路の新しい河道を造り、河岸を保護する護岸工事などを行うものです。工事の実施にあたり、現場の担当者から地域の皆様へのメッセージを紹介します。



『大河津可動堰下流河道掘削及び護岸その6工事』【田中産業(株)】

「安全はすべてに優先する」をスローガンに、関係者一同「交通災害ゼロ」「労働災害ゼロ」を目標に無事故、無災害で工事完了を迎えられるよう努力致します。地域の皆様にはダンプ車輛の通行などご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。なお、工事の範囲が五千石遺跡発掘調査と重複するため、調査終了後の10月から工事を開始する予定です。

『大河津可動堰下流河道掘削その5工事』【田中産業(株)】

越後平野を洪水から守る大河津可動堰改築事業に加わり、その一端を担うことは私共にとって大変名誉なことと感じております。「安全第一」で工事の完了を目指して参ります。地域の皆様方には、ご理解とご協力の程宜しくをお願いいたします。

『大河津可動堰下流河道掘削及び護岸その7工事』【(株)吉田建設】

地元企業として、このような一大事業に携わることが出来る喜びとともに責任の重大さを感じております。特に土砂運搬において、ご迷惑をおかけするかと思いますが、安全に十分配慮して工事を進めますので、皆様のご理解とご協力の程宜しくをお願いいたします。

『可動堰なんでも電話』を開設し、みなさんからのご意見・ご質問などをお待ちしております。

0258-32-3134 (平日 AM9:00~PM4:00)

工事や河川に関することはなんでも大河津出張所へ Tel 0256-97-2121(建設監督官在所)
大河津出張所 : 大河津分水全般に関する工事監督・維持管理等
建設監督官(可動堰改築担当): 大河津可動堰改築事業に関する工事監督等

信濃川河川事務所

<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/>

可動堰情報館

<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/kadouzeki/>

信濃川大河津資料館

<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/ohkouzu/index.html>